



かけはし

公益財団法人 豊島修練会

事務局：成美教育文化会館（内）

TEL: 042-471-6600 FAX: 042-471-6600

HP「成美教育文化会館」で検索！

平成29年10月(第7号)

正岡子規を知っていますか？

最近のY子ども新聞(平成29年9月20日)の一面で、正岡子規を特集していました。その右下に「正岡子規の好きだったスポーツはなんでしょう？」というクイズが出ていました。私は、すぐに「野球」と分かりました。

なぜ知っていたかという、正岡子規は、一高(東大の予備門で、同級生に夏目金之助(後の漱石)がいた)時代、野球に夢中だったことを知っていたからです。

正岡子規は、当時、キャッチャーをしていました。正岡子規は、子供の頃は、常規(つねのり)といい、一高時代は升(のぼる)と言っていました。そこで、自分の名前(のぼる)に引っ掛けて、「野ボール」すなわち「野球」と自分のことを言っていました。俳句を作る人は、雅号という俳句用の名前を持っていますが、正岡子規の雅号は「野球」だったのだそうです。ところで、夏目漱石の「漱石」は、実は、正岡子規の雅号「漱石」を譲ったということが言われています。真実かどうかはわかりません。

このことから、当時アメリカから入ってきた「ベースボール(baseball)」を「野球」と翻訳したのは、正岡子規だという説があるのだそうです。

正岡子規の傑作の5つのうちの一つに、次の俳句があります。

柿くえば 鐘がなるなり 法隆寺



たぶん、子どもでも知っていると思います。実は、正岡子規は柿が大好きだったそうです。この俳句は、夏目漱石から柿を送ってもらった時に、そのお礼の気持ちを俳句にして、夏目漱石宛の手紙に添えたものだそうです。

JR 鶯谷駅の近くの根岸に、正岡子規が母親と妹の介護を受けて住んでいた「子規庵」があります。今でも、正岡子規の終(つい)の棲家を見学できます。近くに根岸小学校がありますが、その真向かいにある豆腐専門料理「笹乃雪」の俳句好きの経営者ら地域の俳句同人の方々に子どもたちが俳句の手ほどきを受けていた頃を懐かしく思い出します。どうぞ、難しく考えないで俳句を作りましょう！ (TY&YY)

★[成美教育文化会館](せいびきょういくぶんかかいかん)で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。





活動紹介!

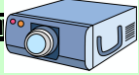



鶴の群

「鶴の群」は俳句の同好会です。この会館での活動は、10年程になります。毎回、宿題があって、各人があらかじめ決められた言葉(この言葉のことを兼題というそうです。)を入れた俳句を1句とその他3句を持ち寄ります。それぞれ鑑賞し合い、一人6句、よいと感じたものを選びます。たくさん選ばれたものは、編集して冊子にするそうです。この日の俳句の中から1句。「街灯の
淋しき夜長 机拭く」



10月の催しから

- 5日(木)14時～
稲門会・成美教育文化会館
共催映画鑑賞会「黒水仙」
- 6日(金)14時30分～19時～
映画会「母」
小林多喜二の母の物語
- 13日(金)・14日(土)
14時・10時30分・14時・18時
東久留米市
ドキュメンタリー映画 
- 15日(日)11時～
高校個別相談会
- 21日(土)14時～
チャタース腹話術祭り
- 29日(日)13時30分～
楽茶会「茶箱」 
- 29日(日)13時～
おもちゃ箱
7周年記念コンサート

※各催しの参加費等は

会館事務室から

